

三木市記者発表資料（令和7年12月24日発表）

担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 縁結び課	課長 成瀬拓生 (内線 2382)	地方創生係	0794-89-2303 (内線 2484)

タイトル

**団地再生事業の象徴的な存在となる
「三木市多世代交流施設の名称」が決定**

本件のポイント

- ・令和7年2月から団地再生事業に資する三木市多世代交流施設の建設工事を開始し、令和8年5月の開設をめざし進めています。
- ・施設の名称については、市民のみなさんに共感をいただける名称を選定するため、4つのロゴ案から総選挙を開催し、HITOTOKI MIKI（ひととき みき）に決定しました！
- ・なお、4つのロゴ案は、本事業の趣旨を理解する事業者、高校生が考えた名称4案に対し、プロのデザイナーがロゴを製作したものです。

説明文

「団地再生～青山7丁目団地再耕プロジェクト～」の核となる三木市多世代交流施設の名称が決定しました。

団地再生とは、郊外型戸建住宅団地が抱える「人口減少」「高齢化」「空き家」などの様々な課題を先進技術などを活用し、「多世代の住民が快適で永続的に循環しながら住み続けられるまち」づくりをめざす取組となっています。

1 三木市多世代交流施設のコンセプトについて

多世代の人々が自然と集まり、まちの賑わいを生み出し、世代を超えた人々のつながりを未来に受け継いでいくため、「共におぎなう・つなぐ・はぐくむ」をテーマに団地再生の象徴的な施設です。主な機能は以下のとおりです。

- ・おぎなう：子育て支援機能やコワーキングスペースなど
- ・つなぐ：行政や民間企業などが実施するサービスの紹介など
- ・はぐくむ：フリースペースや芝生広場においてイベントや体験会の開催など

2 名称

HITOTOKI MIKI
(ひととき みき)

HITOTOKIMIKI (ひとときみき)



ネーミング

木造でできた施設内で、「人」と「木」が織り成す温かさ、そこで過ごす「時間」を表現し、日常でない「ひととき」を過ごすことができる場、そんな施設になってほしいという想いを表現。

デザインコンセプト

「人」と「+（プラス）」のモチーフから成るシンボルは、「人」と「木」の漢字を表現したマーク。あたたかみある色のラインの交差は、ひとが場に集う場を表しています。

3 投票期間 11月1日（土）～11月21日（金）※受付終了



本案件は次の SDGs 目標に関連します。

